

## 処遇改善の取り組み

当施設では、処遇改善加算（1）を取得しています。

### ○入職促進に向けた取組

・他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みを構築しています。

### ○資質の向上やキャリアアップに向けた支援

・働きながら介護福祉士等の取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとするものに対する喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等を行っています。

### ○両立支援・多様な働き方の推進

・職員の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員か正規職員への転換の制度等の整備を行っています。

・有給休暇が取得しやすい環境の整備を行っています。

・業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実を図っています。

・障害を有する者でも働きやすい職場環境の構築や勤務シフトの配慮を行っています。

### ○腰痛を含む心身の健康管理

・福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等の導入及び研修等による腰痛対策を実施しています。

・短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業者のための休憩室の設置等健康管理対策を実施しています。

・雇用管理改善のための管理者に対する研修等を実施しています。

・事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制を整備しています。

### ○生産性向上のための業務改善の取組

・タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量を縮減しています。

・高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳、下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担を明確化しています。

### ○やりがい・働きがいの構成

・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容を改善しています。